



議会だより

たまかわ

No.178

令和7年
1月23日

12月定例会

主な内容

成長の軌跡を刻む冬	2
議案に関する質疑	4
第2回臨時会	5
村政ここがききたい	6~14
議員活動のお知らせ	15
議会活動	16
中学生みらい議会	17~23
玉中生とのワークショップ	24

いざ、みらい議会へ！

(玉川中学校 中学生みらい議会より) 8月11月28日 詳しくはp17-23)



成長の軌跡を刻む冬

みんなから心を入れて！



認定こども園たまかわクックの森

燃料(炭焼き)製造挑戦だ！



須釜小学校

ぼくらの学んでます



玉川第一小学校：出前講座
(遊水地の整備について)

Let's think!



玉川中学校

心ひとつに防災を誓う



玉川村消防団：消防出初め式

新時代、それぞれの未来へ



令和7年玉川村二十歳を祝う会

審議議案と各議員の賛否

全会一致で賛成のため、個別の賛否は省略しました。

議案番号	議案名	採決	内容等
議案第65号	村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	期末手当の支給率を引き上げる改正
議案第66号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	
議案第67号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年度福島県人事委員会勧告に準じ、給料表、期末・勤勉手当、扶養手当等の改正
議案第68号	農用地開発公団事業負担金等徴収条例を廃止する条例	可決	農用地開発公団事業負担金等の徴収事務完了による条例廃止
議案第69号	令和6年度一般会計補正予算（第4号）	可決	4ページに記載。 歳入歳出それぞれ9,263万円を追加し、予算総額を51億4,333万円とする。
議案第70号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	4ページに記載。 歳出のみの補正。基金積立金を減額し、保険給付費、地域支援事業費、諸支出金を増額する。
議案第71号	令和6年度上水道事業会計補正予算（第2号）	可決	収益的支出のみの補正。水道事業費用のうちの営業費用における所要額を補正する。
議案第72号	令和6年度農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	可決	収益的収入支出それぞれ1,038万円を追加し、予算総額を1億8,927万円とする。

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数 3人（令和6年累計傍聴人数120人）
次回の定例会は3月上旬を予定

読んでいただける議会広報へ

議会広報編集特別委員会では、さまざまな研修を通して、読んでいただける、読みやすい紙面づくりに取り組んでまいりました。

議会だよりを通じて、村民の皆さんが村政を身近なものに感じていただけるよう、内容の見直しを行なっています。

今号から一般質問ページが変わります！

これまでの一般質問のページは、通告したすべての質問と、可能な限りの質疑を掲載してまいりました。

各議員が一般質問を通して訴えたかったことを、村民の皆さんにも分かりやすく伝えられるように、読みやすさや見やすさを重視して変更しました。

変更点

- 質問通告書とは異なる質問タイトルへ変更
- 「質問へ込めた想い」「振り返って」を追加
- 議員が指定し、重点質問に絞って掲載することも可能

議会だよりに掲載していないすべての質問詳細は、「玉川村議会会議録」で検索してご覧いただけます。

（会議録公開までは期間を要します）

議会だよりに ご意見ご感想をお寄せください

紙面の活性化や、議会活動をご理解をいただけるよう、議会だよりへのご意見やご感想を常時募集いたします。

皆様のご意見・ご感想は議会だよりの評価と捉えて、今後の参考にさせていただきます！



QRコードを
読み取ってください。

12月定例会

すべて原案どおり可決

あらまし

玉川村議会12月定例会は12月6日から12日までの7日間の会期で開催された。今定例会では、条例改正や補正予算などの議案8件を審議した。また、一般質問には8名の議員が登壇し、2日間に分け村執行部の考えを質した。

議案第69号

令和6年度一般会計補正予算

林議員 社会資本整備総合交付金事業工事3307万円の工事箇所は。地域整備課長 中17号線と南150号線の2箇所。

田谷議員 社会資本整備総合交付金を得るための、社会資本総合整備計画は、毎年作成しているのか。また、要望額に対してどれぐらいの交付金があるのか。

地域整備課長 整備計画は、5年に一度見直しを

けながら整備を進めている。当初2路線で1億3000万円を要求していたが、内示額は4400万円と、約33%の割当。

林議員 公営住宅修繕工事634万円は、どの住宅が該当しているか。地域整備課長 玉川団地の3号棟の修繕工事費用。



玉川団地3号棟の改修

石井議員 創業支援事業補助金150万円は何名を考えているのか。

産業振興課長 1件100万円の補助になっており、創業に係る改修等に村内事業者を使用した場合のみ50万円を増額し補助する。今回は1名が対象。

石井議員 生ごみ処理機補助金15万円の内容は。住民税務課長 購入費の2分の1を補助しており、1台当たり上限3万円で5台分を追加補正。

◆ 生ごみ処理機等購入費補助金制度 ◆

種類	補助金額
①電動式生ごみ処理機(購入)	購入価格の2分の1以内とし、30,000円を限度
②電動式生ごみ処理機(レンタル)	賃料の月額2分の1以内で、1ヵ月上限1,000円とし、30ヵ月を限度
③コンポスト容器	購入価格の2分の1以内とし、5,000円を限度
④EMIぼかし容器	購入価格の2分の1以内とし、5,000円を限度

①～④について、いずれも1世帯につき1基を限度とする。

石井議員 玉川村太陽光発電に関する条例検討

委員会委員報酬5万円は、何人の委員がいるのか。
住民税務課長 団体代表や有識者の9名で構成をしている。

議案第70号

令和6年度玉川村介護保険特別会計補正予算(第2号)

林議員 介護予防住宅改修費51万円は何件分でいくらか。また上限はあるのか。

健康福祉課長 介護認定を受けている要支援者、要介護者を対象。上限20万円までの住宅改修費用の補助。1件10万円で5件として予算に計上した。

林議員 過年度分に係る保険料払戻金1万円は何人分か。

健康福祉課長 所得の確定により仮徴収していた部分の還付金で、13人を予定している。

第2回臨時会

第2回の臨時会は11月11日に開催され、村から提案された専決処分1件、工事請負契約の締結1件及び教育委員の任命2件を審議し、全て承認、可決、同意された。

審議議案一覧

全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略しました。

番号	議案名	採決	内容等
議案第61号	専決処分の承認を求めること	承認	衆議院議員総選挙に係る経費の増
議案第62号	ため池浚渫工事請負契約の締結	可決	下記に記載
議案第63号	玉川村教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意	新任の廣川昌美氏
議案第64号	玉川村教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意	再任の石井隆士氏

議案第62号

ため池浚渫工事請負契約の締結

石井議員

① 昨年度

実施した川辺の荒池と同様の工法か。②工期の延長、繰越はないのか。③残土の処分先は決まっているのか。

産業振興課長

① 川辺

の荒池と同様の工法とし、土壌改良を行い搬出する。②現時点では期間内の完成をめざして進めている。③空港用地（北側駐車場付近）への搬出を考慮しており、現在協議中である。

岩谷議員

この規模の工事となると、5か月間での完成は到底不可能と思われるが、

産業振興課長

工期内

完成を目指し進めているが、工事の進捗状況によっては繰越となることもあり得る。

議案第64号

玉川村教育委員会委員の任命につき同意を求めること

須藤議員

人格、学識

に申し分ない。一般論で公職と商売の関係性に規制があるのか伺う。
村長 明文化されたものはないが、他から指摘されることのないように留意する。

お詫びと訂正

議会だよりたまかわNo.177号、12ページの令和5年度監査委員決算審査報告・意見の「一般会計・特別会計の審査意見」に誤りがありました。お詫びして、下記のとおり訂正いたします。

(正) 平成7年のふくしま国体

(誤) 令和7年のふくしま国体



再任 **石井 隆士氏** (小高)



新任 **廣川 昌美氏** (南須釜)

教育委員会委員の任命に同意

村政 ここがききたい 8人の議員が質問

一般質問とは、議員が村長など執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるもの。

住民を代表しての発言の場であることから、大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動でもある。

1	円谷 兼一	1. 村民の健康状態を見る聞く活動を	7ページ
2	大羅 将	1. 村内どこでも電波が入るように 2. Wi-FiのSSIDを一本化へ	8ページ
3	須藤 安昭	1. 玉川村では不祥事を発生させない	9ページ
4	林 芳子	1. 乙な駅 たまかわ民間運営	10ページ
5	佐久間福男	1. 既存施設の利便性向上を 2. 団体活動への支援が見える形へ	11ページ
6	堀越 美保	1. 小中高生にも子育て支援施策を	12ページ
7	小針 善誠	1. 将来を見据え健全な財政運営を 2. 道路等整備状況が見える化に 3. 職員の働きやすい服装へ	13ページ
8	石井 清勝	1. 遊水地移転者に寄り添った支援を 2. 明確な入札管理体制を	14ページ



村民の健康状態を見る聞く活動を



つむらや けんいち
円谷 兼一 議員

質問に込めた思い

村は子育て支援や介護支援・高齢者支援・健康増進に向けたサポートが充実しています。しかし金銭面で充実したサービスが受けられない方もいます。そのような方にも幸福で安定した生活ができるようにしたい思いです。

問 10月に集団健康診断が実施されたが、昨年と申込み方法が変更され、診断時間や人数の区割りが行われたことにより、スムーズな流れでとても素晴らし健康診断であった。昨年度までは保健協力が取りまとめを行い、その報酬として総額100万8千円支出されたが、今回のオンラインと電話での受付によるシステムには、どのくらいの経費が掛かったのか。

答 オンライン費用が325万3800円、コールセンター費用が214万6100円、合計539万9900円が全額委託料であり、オンライン費用については国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用している。

問 オンライン費用は国の交付金を活用して

いるが、補助の割合は。 **答** 対象経費の2分の1が交付金。

問 オンラインと電話での受付件数は。 **答** オンライン受付94件、電話受付578件。

問 高齢者・免許返納者・身体の不自由な方などのために、無料の送迎バスやワゴン車などを運行して、保健センター等で定期的に健康チェックとコミュニケーションができる体制をつくれぬか。

答 現在、各地区の高齢者健康サロンや健康推進ルームで実施しているリハビリ教室において、送迎希望者に対し、シルバー人材センターに運転業務を委託して送迎を実施している。また、今年度から、地域おこし協力隊としてコミュニティナースを1名雇用し、村保健センターを活動拠点に、



スクールバス併用運行ができれば

高齢者健康サロンや各地区で実施している小規模サロン等において、参加者の血圧測定や各種相談業務を行っている。今後も引き続き、交通弱者への送迎サービスを行うなど、身近な地域で健康づくりに取り組める場や機会の拡充を図っていききたい。

問 計画的な送迎サービスの体制が不可欠であり、是非とも実現してほしい。

答 本村では「高齢者QOL向上サービス実証事業」の1つである「御用聞きサービス・安心サポート事業」を実施しており、高齢者や免許返納者等の移動・お買い物等の日常生活を支援することで、高齢者等の生活の質の向上を目指す事業となっている。自治体ライด์シェアなどが進んでいけば、玉川モデルとして何が一番いいのか調査研究していく。

【振り返って】 円谷兼一 高齢者・免許返納者・交通弱者等の健康チェックとコミュニケーションに対応できる無料送迎バスや乗り合いタクシーで運行する体制が必要と思う。また、スクールバスの併用運行ができる体制も確立してほしい。

村内どこでも電波が入るように



おおら ひとし
大羅 将 議員

質問に込めた想い

地域によって、携帯電話の電波状況が悪い場所や、不感地帯（圏外）があり、日常生活やイベント時にも支障がでています。4大キャリアが不便なく使用できるよう、関係事業者へ積極的な働きかけをしてほしく質問しました。

問 携帯電話の電波状況調査の実施は。

答 平成29年度まで毎年居住地域を対象に調査を実施。調査の結果、居住地域内では、いずれかの通信事業者の電波が受信可能であり、圏外となる地域はなかった。

問 今後調査をする予定はあるのか。

答 居住地域で、圏外となる地域がなくなったことを確認しているので、今後実施する予定はない。

問 通告書の背景や経緯でも記載してあるが、たまかわ文化体育館周辺及び認定こども園たまかわフックの森周辺は、調査対象内なのか。

答 調査対象外だが、村が独自に調査を実施し、電波が繋がりにくいことからWiFiを設置した。

問 居住地域以外の不感地帯に対する電波状況

改善の取組は。

答 各通信事業者に対し、アンテナ設置等の改善の要望をしている。認定こども園事務所、たまかわ文化体育館事務所、図書室には電波改善機器を設置し、部分的に改善している。



電波改善機器

WiFiのSSIDを一本化へ

問 Tamakawa-Free-WiFiの現状は。

答 クックドームと森の駅 yodge で提供して

おり、今年度4月からの

7ヵ月間で5791台。1日平均26・7台の接続端末数がある。

問 それぞれのアクセスポイント数は。

答 森の駅 yodge が8台、クックドームが5台。

問 玉川夏祭り開催時（クックドーム）の接続数は、146台ということだが、アクセスポイント1台当たりの同時接続台数は。

答 アクセスポイントの同時接続台数は、1台当たり約60台。

問 玉川村役場周辺で村民が使えるWiFiの整備は。

答 玉川村役場、就業改善センター、保健センターは、業務利用のためのWiFiが整備済みのため、今後一般開放に向けて検討していく。

問 公共施設に設置されている、すべてのWiFiのSSIDの一本

化を要望しているが。

答 利用者の利便性向上、情報発信力の強化が見込まれるので、既存利用者への影響等を考慮し、SSIDの一本化へ検討を進めていく。



アクセスポイント

【振り返って】大羅 将

携帯電話の電波状況改善を早急に行い、快適に不便なく4大キャリアが全て使用できるように。

電波状況が悪い時は、WiFiが使えるように、公共施設のSSIDを一本化し、村内どこでも接続ができるように。



すどう やすあき
須藤 安昭 議員

玉川村では不祥事を発生させない

質問に込めた思い

他町村にて不祥事が発生しています。他山の石とし玉川村の現状の把握、課題の有無、対策の実施を質し、玉川村では問題ないことを確認したく、質問しました。

問 石川町での官製談合を受け、玉川村で発生しないように、どのような対策をとっているか。

答 チェック機能や倫理観、コンプライアンスの欠如が一因。競争性、透明性、公平性、公正性に対する意識を高める指示をしている。
問 入札参加業者はどのように決定されるのか。

答 各課から選考内申書の提出を受け、副村長と4名の課長による指名委員会にて決定する。

問 設計価格、予定価格はどのように決定されるのか。

答 設計価格は工事担当者が積算、又は業者が委託した設計書を審査して設計価格とする。予定価格は設計価格をもとに入札直前に村長が決定する。

問 入札を実施し、議会の議決後に契約となるか。

るが、議会の議決を必要としない契約もある。その線引きと件数は。

答 5000万円未満の工事請負契約、及び700万円未満の不動産または動産購入契約であり、100件近い契約がある。

問 随意契約の透明性を図るために決算特別委員会等で何を、どこに、いくらで契約したかを開示すべきでは。

答 かなり膨大な量であり、随意契約施行令の規定に従い実施しているもので、現行通りとしたい。

問 平田村での公金横領事案は金庫や鍵、現金を管理する管理職の犯罪である。チェック体制の強化という答弁があつたが、具体的に誰がどのようにチェックするのか。

答 担当者、課長、総務課長、財政サイドか



順調に進む宅地造成工事（旧須釜中校庭）

内部牽制の見直し、充実を行ったか。

答 風通しのよい職場づくりが大事と思う。トップとして一つ一つ丁寧に耳を傾け情報を共有し村政運営をする。

問 各種団体の事務局、会計を役場職員が担当するケースがある。現金、通帳、印鑑の取扱いに關しどのような指導や点検、管理をしているか。

答 事務及び会計取扱い上の留意事項を定め、各種団体の会計年度終了後に担当者が副村長にその内容を報告し、確認を受けることにより、公金の適正、効率的な事務処理を行っている。

問 「□止めされたが上司に報告し発覚した」ギャンブルの穴埋めに「ギャンブルの穴埋めに使った」と報道されている。倫理観やモラルを高めるといふ答弁があつたが、職員、業者、住民からの情報、更には家庭状況の把握等により不祥事の未然防止が重要だ。内部統制や

【振り返って】須藤 安昭
議会、議員としてもチェック機能を十分に發揮していきたい。



はやし よしこ
林 芳子 議員

乙な駅たまかわ民間運営

質問に込めた想い

令和3年オープンの際の森の駅yodgeを筆頭に、アーバンスポーツたまかわ、たまかわ農産物加工施設、乙な駅たまかわが公募型の指定管理者経営となり、民間ならではのノウハウをどれだけ生かせるかに期待したいです。

問 指定管理者の選定方法は。

答 総務省が示すプロセスに沿った、プレゼンテーションを含むプロポーザル審査会の実施による選定。

問 村独自の選定方法はあるか。

答 選定手続き、審査基準までを公開情報として提供している。プロポーザル審査委員会は、民間の方も含め目的に応じた審査員を選定し、固定メンバーがすべての審査を行わない仕組み。さらに選定委員会を経る二重の仕組みをとっている。

問 選考の透明性を高めるために民間の有識者を入れる考えは。

答 プロポーザル審査には民間有識者を入れており、二重の審査を行っている。指定管理者選定審査委員会には、現時点で入れる考えはない。

問 これまでの観点に基づく今後の検証、検討は。

答 月1回の運営側との定例会の実施。近年の物価高騰による経営者側への影響が考えられるので年度ごとの協定において経営的検証も含め指定管理料の設定を行う。

問 公募及び再認定(更新)について。

答 万が一応募者がなかった場合、一時的に村が直接運営する。今後様々な事象を勘案し、公募の条件や要求水準書を策定する必要がある。

問 指定管理範囲の細分化について。

答 指定管理は施設全体の管理・運営を手掛け、サービスの向上や経費節減が主な目的であるので、細分化は考えていない。

問 指定管理者による自主企画事業は。

答 公募型でない施設、各行政区にある集会所等は目的に合った事業を展開している。yodgeでは自主事業としてカフェレストランの運営、ウェディング事業、ピザづくり等複数の体験事業。アーバンスポーツ施設では、BMX、スケートボード、自転車関連イベント。

乙な駅たまかわでは、ベーカリーカフェ、ステイキハウス、クラフトビール醸造所、他に玉川村生産物直売所では農林水産物、花木民芸品等の受託販売、農

産物加工施設では農産物加工品の製造や農産物加工に関する技術の普及指導・人材育成を行っている。

問 今年の5月31日付けでたまかわ未来ファクトリー(株)の親会社(株)インサイトから株式譲渡の発表があった。たまかわ未来ファクトリー(株)の親会社が変わったことは村には報告があったのか。またどのようなあったのか。

答 出資者及び代表者が変わったとの報告があった。



乙な駅たまかわ ステーキハウス



乙な駅たまかわ お土産コーナー

既存施設の利便性向上を



さくま 福男 議員
佐久間福男 議員

質問に込めた思い

今後、持続的に賑わいを保てるよう空港周辺の施設にも目を向け、働きかけ環境改善に取り組み利便性の向上を図り、更に多くの人に来村して頂けるよう日々、進化・成長していく事が必要と考えます。

問 野外活動広場での利用者増に向けた施設の改善などの働きかけはされているか。

答 本年9月に内堀知事が来村された際、キャンプやサイクリングなどアウトドア活動が出来る仕組み作りを要請したところであり、今後も引き続き県への要望、協議を重ね効果的な活用に向け取り組んで行く。



野外活動エリア

問 既存のテーブルに屋根などを設置し、暑さや雨などの対策を進め利便性の向上を図ることで利用者の拡大が見込めるのでは。

答 有効と考える。ご指

摘、ご要望があった事を伝えたいと考える。

問 スキルパークたまかわの現在の利用状況は。

答 令和6年4月から11月末で利用者数は210名で対前年比150%程度。11月に開催したイベントに於いて、自転車メーカーやキッチンカーなどの民間事業者とタイアップし、約110名の来場があった。利用者は、村外が全体の9割で10歳未満の子供から60歳までの幅広い年齢の方々が利用している。



スキルパークたまかわ

問 現在、仮設トイレを利用しているが、イベントや大会で多くの利用者が見込まれる中で、今

後の対応は。

答 実証中から水の問題があった。仮設トイレの設置、管理は事業者で対応いただいている状況。

問 道の駅たまかわ施設周辺の整備状況は。

答 多くの皆さんに利用して頂けるよう整備を進めてきた。駐車場に設置してある電気自動車のEV充電設備を20kWタイプから50kWタイプへ今年度中更新予定。

問 福島空港西線沿いの支障木や雑草伐採の働きかけはされているか。

答 道路管理者である福島県に対し、会議等があることに要望している。今後、歩道を含め、道路が安心安全に通行出来るよう維持管理の充実を県は約束した。

問 道の駅たまかわ正面の県道が、冬場降雪後、道路脇の山林の影響を受け、凍結・圧雪状態が長く続き、大変危険である

事から改善策など考えているか。

答 福島県に伝え、どのような方法が良いか要望していきたい。

問 村有地の山林部分を伐採し対応する考えはあるか。

答 今後検証し、何が一番良い方法で安全に通れるか対策を考えていきたい。



県道福島空港西線

【振り返って】 佐久間福男 今後、賑わいづくり等を厳しく限られた財源の中で進めていかなければならないことから、既存施設の利活用の観点からも、しっかりと県や関係機関への粘り強い働きかけが必要と考える。

小中高生にも子育て支援施策を



ほりこし みほ
堀越 美保 議員

質問に込めた思い

村独自の支援策は、子どもの年齢が上がるにつれ減っていき、高校生にはありません。子育て世帯が村に住み続けられるように、また、村へ移住してもらおうきっかけにもなるよう、子育て支援対策について伺いました。

問 たまかわつ子育て支援給付金を創設した経緯と、なぜ3歳未満という設定なのか。

答 出生率が低下する要因は、結婚出産を希望する若者の減少と、若者の経済的な不安が一因であると考えられる。若者の経済的基盤を安定させることにより、子どもを産み育て、子どもが健康に育ち、暮らしやすい社会を実現するため、本村独自の給付金制度を創設した。支給対象を3歳未満とした理由は、村では平成28年度にたまかわクックの森に通う園児を対象に、無償化および軽減措置を実施していたが、令和元年10月に「子ども子育て支援法」が改正になり、3歳以上の認定こども園等の利用料が無償化となったため、対象から外れた3歳未満の子どもを対象とした。

問 実際の子育て期間

はもつと長い。対象年齢を上げて欲しいが村の考えは。

答 現時点では対象範囲の拡大は検討していないが、子育て環境を向上させるために必要な政策であることは十分認識している。持続可能な子育て支援を行うために、国や県等の新たな補助金の活用、さらに財源の有無等を含め調査研究していく。

問 小・中・高校入学時、学用品の購入などで出費が多く、助成を望む声が多い。入学祝金や、高校卒業時の門出祝金の支給はできないか。

答 現時点においては、入学祝い金等の支給は考えていない。玉川村の子育て支援は、他市町村と比較しても、充実した内容になっており、たまかわつ子誕生祝金・たまかわつ子育て支援給付金にプラスして、入学祝金となると難しい。既存の



JR水郡線で通学する高校生

給付の中で、一括ではなく、節目等での給付を望む声が多くなった場合は柔軟に対応していきたい。

問 高校生に対する通学補助金の支給はできないか。

答 村では子育て支援の充実を図るべく、財政的・人的支援の両面から各種施策に取り組んでおり、管内町村と比較しても充実した支援策となっていることから、現在、村では高校生に対する通学補助を行っていない。

今後、他市町村の政策も参考にしながら、子育て支援策全体の中で調査研究していきたい。

【振り返って】堀越 美保
村の予算内でやりくりするのは容易ではないと思うが、重要なのは時代に合わせた配分の仕方だと思う。

たまかわつ子誕生祝金は平成28年4月に創設されたことから、今の小学4年生以上の子どもがいる家庭、または子どもが生まれた後に村外からの移住してきた家庭は受け取れない。

子どもが成長するにつれ、お金がかかるようになるので、成長の節目にも「お祝い」として頂けたら子育て世帯は嬉しい。高校の通学補助についても少額でも毎月補助してもらえると助かるという声があった。今後の村の柔軟な対応を望む。

将来を見据え健全な財政運営を



こばり よしとも
小針 善誠 議員

質問に込めた想い

避けられない人口減少で、村の財政状況は厳しくなってくると想定されます。村民のより良い生活環境、より良い村づくりを視野に、弾力性のある財政状況を目指し、村政運営に努めてほしいです。

問 財政健全化にゴールはないと考えるが、村長の考えと財政健全化への具体的な指針は。

答 財政健全化にゴールはない。村税収入をはじめ一般財源的歳入は厳しくなると推計。義務的経費等の増大も避けられない状況から、財政の硬直化進行に危機感を持っている。基幹産業の農林業振興、商工業等の産業政策、定住人口を増やす施策へ積極的に取り組む。予算編成説明会では、職員一人一人が財政状況を理解し、財政健全化を意識して取り組む様、情報の共有化を図っている。デジタルの活用や事務事業の見直し、スクラップアンドビルドの徹底、行政のスリム化等自治体経営の効率性を高め、スピード感のある財政運営を目指す。

問 近年下がる財政力

指数の回復目標は。

答 財政力指数に具体的目標値はないが、健全な財政運営の指標の一つ。主な財政指標を常に意識し、行政経営を進めたい。

問 例えば補助事業の計画で、補助金のあり方に関するガイドライン等の策定など、様々な見直しも必要では。

答 補助金等の支出にあたり、村民への説明責任を果たし、目的や内容の公益性や補助対象の明確化が必要。経年により公益性・妥当性が乏しくなる場合や、長期化・固定化の傾向も否めない。平成29年11月に策定した補助金等に関する見直し基本方針による検証、整理合理化を推進している。次年度当初予算に反映すべく、各種団体への補助金等交付も、必要性、費用対効果や経費負担等の検証、対象団体のあり

方も含め見直しを進めている。

問 村民の協力が重要になる場合、どの様に理解を求めているのか。

答 村民の暮らしやすい基本設計が可能な様に、説明責任を果たしていく。来年度は第6次振興計画の最終年度であり、新たな振興計画策定にも十分な説明と理解を得られるよう努める。

区分	令和2年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)
実質収支比率	14.2	10.1	13.3
経常収支比率	87.6	87.0	90.2
(※1)	(-91.0)	(-90.0)	(-91.4)
標準財政規模	2,365,739	2,553,139	2,511,483
財政力指数	0.40	0.37	0.36
公債費負担比率	9.8	10.5	10.6
健全化判断比率			
実質赤字比率	-	-	-
連結実質赤字	-	-	-
実質公債費比	11.1	11.1	10.7
将来負担比率	11.9	11.9	41.4

村の財政状況資料

【振り返って】 小針 善誠
玉川村の財政力指数は、直近3年間で0.40、0.37、0.36と下がっている。例に漏れず、本

村も消滅可能性自治体に該当し、将来を見据えた財政運営が必要と考えた。将来的な財政運営における危機感、振興計画推進へ財源を生み出ししていくことの必要性、振興計画策定等あらゆる場面で説明責任を果たしていく姿勢を確認できた。

また、村民懇談会を通じ、道路等整備の課題が各行政区で散見されたことから、情報公開のあり方を質問した。道路等整備の請願の評価方法や進捗等の見える化は、前述の説明責任にも通じる。限りある財源での対応が求められる中で、これら見える化で管理方法の検討や、滞った請願の整理にも繋がると思われる。情報開示は村民の不安解消という効果も得られないかと訴えた。前向きな回答を受け、実現の期待とともに今後も注視していきたい。



いししい きよかつ
石井 清勝 議員

遊水地移転者に寄り添った支援を

質問に込めた思い

村には移住者や定住者等への支援はあるが、遊水地整備に伴う家屋移転者は国からの補償金のみです。慣れ親しんだ土地から移転を余儀なくされる方の心情に寄り添い、負担を少しでも軽減する取り組みを求めます。

問 移転される方が、移転先において少ない負担で上水道に接続出来ないか。

答 集団移転地以外への移転においては、基本的に自己負担による接続となるが、集団移転地においては、宅地造成と一体的に止水栓や公共枿を整備し、費用負担が発生しないこととなるため、今後、全体としての費用負担のあり方について、調査研究を進めていきたい。

問 移転を余儀なくされる方が円滑に移転を進められるよう、村による支援を検討しているか。

答 国には移転者や地域に寄り添って事業を進めるよう求めており、引き続き、強く働きかけていくとともに、相談対応や調整等を通じて、不安を払拭できるよう取り組んでいきたい。

問 県や河川国道事務所に要望していると思う

が、国土交通大臣の所に行って要望が出来ないか伺う。

答 3町村で協議して要望を相談していきたい。



遊水地区事業エリアとなる竜崎地区

明確な入札管理体制を

問 業務チェック体制について伺う。

答 担当課によりダブルチェックを行うほか、総務課長、教育長、副村長、村長が決裁の中で確認するなどのチェック体制を構築している。

問 コンプライアンス管

理指導者を置くか伺う。

答 現時点は配置は考えていないが、職員一人一人のコンプライアンスを徹底していきたい。

問 議会の議決に付すべきに関する条例一部の5千万以上から2千万以上へすることによりチェック機能強化が図られると思うが、改正する考えがあるのか。

答 規定に基づくものであり改正出来ない。

問 内部通報制度について伺う。

答 本村では、制度の導入が義務付けられていないので、そのような事態が発生した場合、積極的に通報を行うことができるといい組織になっていきたいと考えている。

問 入札価格予定等は報告があるが、最低制限価格と制度は利用しているか伺う。

答 導入はしていないが、一部の業務について

は利用をしている状況。

問 入札した業者ができないときに下請けに出すことがあるが、チェック体制について伺う。

答 元請業者から担当課の方に体制等も挙げて頂き確認して、チェックができる状況になっている。

最低制限価格制度とは

最低制限価格制度とは、公共事業の入札において、工事の品質維持のために適正な価格設定を目指す制度です。具体的には、公共工事の発注者（自治体）が入札の最低ラインとなる価格、つまり「最低制限価格」を設定し、それよりも低い金額での入札はすべて失格となります。

【振り返って】石井清勝

地権者の気持ちになって国土交通大臣に要望を働きかけていただきたい。

議員活動のお知らせ

10月から12月までの議員活動の出欠状況をお知らせします。(個人の活動は除く)

○は出席 ×は欠席 空欄は担当外

月	日	行事(活動)名	小針善	堀越	佐久間	円谷	岩谷	大羅	須藤	林	飯島	三瓶	石井	小針竹	
10	2	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○		○							
	4	石川地方植樹祭(古殿町)												○	
	5	第6回全国さるなし・こくわサミット(文化体育館)											○	○	
	7	福島県町村議会議長会 監事会(福島市)												○	
	8	石川地方町村議会議長会(石川町)												○	
	16	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○			○						
		議長杯グラウンド・ゴルフ大会(村民グラウンド)													○
	18	ふくしま駅伝大会玉川村選手団結団式(スパーク玉川)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福島県町村議会議員研修会(郡山市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	須賀川地方広域消防組合議会 定例会(須賀川市)			○										
	29	県道飯野・三春・石川線整備促進期成同盟会現地視察									○				○
30	小中学校在り方検討委員会(就業改善センター)	○			○										
31	石川地方生活環境施設組合議会 全員協議会(石川町)	○	○		○										
11	1	高齢者作品展審査会(スパーク玉川)												○	
	2	郡山市政施行100周年記念式典(郡山市)												○	
	3	高齢者作品展表彰式(スパーク玉川)												○	
	8	広報委員と玉川中学校生徒とのワークショップ	○	○	○	○			○						
		石川地方町村議会議員研修会(マーヴェラス末広)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	玉川村芸能発表会(文化体育館)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	11	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		玉川村表彰式(就業改善センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会広報編集特別委員会	○	○	○	○			○						
	13	町村議会議長全国大会(東京都)												○	
	17	第36回ふくしま駅伝大会(議員応援)及び解団式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	議会運営委員会			○				○	○	○	○		○	○
		教育委員任命書交付式(村長室)													○
		教育懇談会(就業改善センター)				○					○			○	○
	27	玉川村振興計画審議会(就業改善センター)				○			○						
28	中学生みらい議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	小中学校在り方検討委員会(就業改善センター)	○			○										
29	議会運営委員会			○				○	○	○	○		○	○	
	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○			○							
12	2	石川地方交通安全大会(平田村)												○	
	6~12	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	議員打合せ会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	議員打合せ会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議会基本条例制定特別委員会	○				○				○	○		○	○
	20	石川地方生活環境施設組合議会 議会運営委員会(石川町)	○				○								
	23	石川地方生活環境施設組合議会 定例会(石川町)	○	○		○									
	25	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○			○						
26	公立岩瀬病院企業団議会 定例会(須賀川市)									○					

福島県町村議会議員研修会 (10月25日)

本年度の福島県町村議会議員研修会が郡山市ビッグパレットふくしまで開催され、全議員出席し研修を行ってきました。

研修会では、2名の講師による講演が行われました。

- 1) 明治大学政治経済学部 教授 牛山 久仁彦 氏
「岐路に立つ議会改革 ―ポストコロナと集権下の中で―」
- 2) ジャーナリスト、ニュースキャスター 星 浩 氏
「今後の政局・政治展望」

石川地方町村議会議員研修会 (11月8日)

本年度の石川地方町村議会議員研修会が、石川地方5町村の議員58名、町村長5名、事務局担当職員11名が出席し、マーズラス末広で開催されました。

福島大学 行政政策学類 准教授 岸見太一氏より、「地方議会とハラスメント」と題し、講演が行われ、全議員がハラスメントについて研修を行いました。



公立岩瀬病院企業団議会・須賀川地方広域消防組合議会 定例会・臨時会レポート

当村議会から公立岩瀬病院企業団議会、須賀川地方広域消防組合議会、それぞれの議会議員として定例会等へ出席しているよ。
今回は9月定例会以降に開催された2つの議会について概要をお知らせするね。



○ 公立岩瀬病院企業団議会

出席者 (林芳子議員)

令和6年9月定例会 / 令和6年9月30日開催

- ・ 令和5年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計資金不足比率 承認
- ・ 令和5年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計決算 認定

村の負担金 850万円

○ 須賀川地方広域消防組合議会

出席者 (佐久間福男議員)

令和6年10月定例会 / 令和6年10月28日開催

- ・ 令和6年度須賀川地方広域消防組合一般会計補正予算 (第1号) 可決
- ・ 令和5年度須賀川地方広域消防組合一般会計歳入歳出決算 認定

村の負担金 1億6,103万円

中学生みらい議会

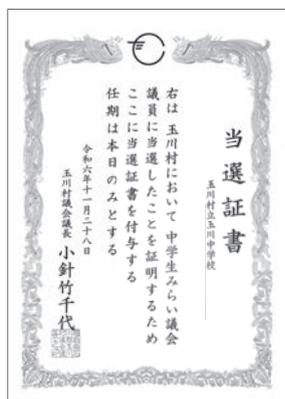
11月28日 開催

質問事項

議席番号 通告順	氏名	一般質問
1	我妻 佑飛	ゴミ問題とゴミの活用について
2	佐藤 優真	玉川村の健康・福祉について
3	矢部 宗泰	村の活性化を目指すための取り組みについて
4	大野 陸	情報ネットワーク（携帯電話）について
5	小林 楓	玉川村の防災について
6	須釜 蕾	「乙な駅たまかわ」の活用の方法について
7	矢吹 翔和	子育て支援について
8	矢部 桃菜	地域（地区）の人と触れ合えるイベントについて
9	樋口 真愛	空き家等のスペースの利用について
10	大野 浩矢	再生可能エネルギーの導入と利用促進について
11	小林 郁斗	玉川中学校校門坂の街灯と校庭の外灯、校門坂の木の整備について
12	矢部 柚月	子ども食堂と玉川村の特産品について

中学生みらい議会「当選証書付与式」が行われる！

中学生みらい議会の開催にあたり、議員任期を1日限りとする「当選証書」及びオリジナルの「議員バッジ」の付与を、開会前に議長室で行いました。



中学生みらい議会議員当選証書



当選証書を付与



議員バッジ

わがつま ゆうと
1 番 我妻 佑飛 議員

ゴミ問題とゴミの活用について

- 問** 給食の残菜は、現在焼却処分されています。生ゴミ用コンポストを給食センターに設置して、残菜を有機肥料に変えて各学校の花壇に使用できればSDGsにもつながると思います。
- 答** コンポストによる肥料化の過程では、微生物や有機肥料の働きの学習にもつながるので、実証事業として、予算措置や設置後の管理方法等についても協議、検討してまいりたいと考えております。
- 問** 村職員による定期的なゴミ拾いの実施はしていますか。実際にゴミを拾ってみると、そこから新たな気づきも出てきて、より身近に住民に呼びかけることもできるようになると思います。
- 答** 春から秋にかけて「環境美化デー」を設け、ゴミ拾い等の清掃活動を行っており、活動を通しての気づきや課題をSDGs目標達成に向けた取組みへと反映させ、村民へ周知啓発を図ってまいります。
- 問** 玉川村は、ゴミの排出量を減らすために、何か具体的に取り組まれていることはありますか。
- 答** 10%削減を掲げ、生ゴミ処理機の購入費補助を行い、家庭から出るゴミの減量化を目指しています。
- 【感想】** 僕は、議員として中学生みらい議会に参加しました。1番最初に質問したりするのはプレッシャーが大きかったです。でも無事に質問することができてよかったです。来年も参加すると思うのでまた質問したいです。

さとう ゆうま
2 番 佐藤 優真 議員

玉川村の健康・福祉について

- 問** 村民全体の健康を守るという観点から、すべての人に予防接種の補助金を出す考えはありますか。
- 答** すべての村民に対する任意接種費用の助成は、現時点において対象者を拡大して実施する予定はありませんが、今後も国や県、近隣市町村の動向を注視し、情報の収集と提供を図ってまいります。
- 問** SDGsの活動を通して健康増進ダンス「笑顔QOLダンス」を子供向け、大人向け、高齢者向けの3種類を考えました。笑顔QOLダンス等を発信していただける機会を作っていただけませんか。
- 答** 皆さんが考案された笑顔QOLダンスに取り組むことは、高齢者の方々にとって大変有意義で大きな活力になるものと思いますので、体験や実演できる場などを検討してまいりたいと考えております。
- 問** 笑顔QOLダンスとクックちゃん体操を1枚のDVDやCDに書き込み、村民に配布できないか。
- 答** 皆さんが作成した笑顔QOLダンスをまだ見たことないので、一度披露してもらい参加者の反応を見たいと思います。高齢者健康サロン等は平日なので、春休み等の長期休業の際に是非お願いしたい。
- 【感想】** 私は、議員として玉川村を良くしようと思い質問などをしました。初めての体験でとても緊張し、改めて人前で発表することの難しさを知ることができました。とても貴重な体験でした。ありがとうございました。

やべ そうや
3 番 矢部 宗泰 議員

村の活性化を目指すための取り組みについて

- 問** 「玉川村から有名なスポーツ選手を！！」をキャッチフレーズに玉川村から有名な選手が育つような村づくりができればいいと思います。スポーツをできる施設は多くありますが、無料開放したりより多くの人に利用してもらえるような、PR活動を積極的にしてみたいか。
- 答** キャッチフレーズの村づくりは、とてもユニークな発想だと感じました。今後有名スポーツ選手が輩出されれば、大変嬉しいことだと思います。多くの方に村スポーツ施設を利用して頂けるよう、施設利用者アンケートや他自治体の先進的事例等も参考としながら、安心して利用できる環境整備や施設運営を行ってまいりたいと考えております。
- 問** 中学校部活動の地域移行が進められていますが、玉川村にクラブチームを作る考えはありますか。
- 答** 玉川村には既に地域の方々を中心になって活動している、スポーツ団体、クラブチームが多数あります。従って、改めて村が主体となってクラブチームを作る予定は今のところありません。
- 【感想】** 私は、今回議員として中学生みらい議会に参加しました。答弁をいただいたことをすぐにメモする力が自分に不足していると感じました。これからも必要な力だと思うのでしっかりと身に付けていきたいです。

- 問** 周りの人から携帯電話がつながりにくいという話をききます。学校のWi-Fiの状況もよくありません。各携帯電話会社が設置しているアンテナの状況について、村としては把握していますか。
- 答** 詳細な設置場所については公表されていないため、すべては把握していません。
- 問** 公共施設や教育施設などに、より性能の高いWi-Fi中継器の設置を検討していただけませんか。
- 答** 学校の通信環境については、調査予算を計上し、結果を踏まえ必要な対応を検討してまいります。
- 問** Wi-Fi環境がない家庭では、タブレットを持ち帰って使用できない生徒もいると思います。村としては何か対策を考えていませんか。
- 答** AIドリルにつきましてはWi-Fi環境がある学校でダウンロードを行うことでWi-Fi環境がない場所でも利用できることから、この機能を活用して自宅での学習に役立ててほしいと考えています。
- 【感想】** 私は、初めての議員として出ました。みんなが見ている中とても緊張しました。けど村長さんに自分の意見を伝えることができ良かったです。でも、読むのが早くなってしまったので来年はゆっくり読みたいです。

- 問** 「防災マップ」の果たす役割や、減災に向けた対策等について、社会科の授業で学習しました。村では、村民による防災マップを活用した避難訓練等は行われていますか。
- 答** 従前は防災訓練を実施していましたが、近年はコロナの影響等もあり、避難訓練は行えていません。
- 問** 減災について玉川村では、具体的にどこに、どのような対策ができていますのでしょうか。
- 答** 河川において流れを良くするため、また、ため池においては、大雨時に多くの水を貯めるために、それぞれ堆積している土砂等を取り除く事業を実施しています。
- 問** より村民に分かりやすい防災放送やパンフレットを作って全家庭に知らせるといいと思いますが。
- 答** 防災放送については、玉川村防災アプリ等も活用し、情報共有や周知を行ってまいります。パンフレットの配布については、全戸配布と、広報紙やHP、SNSでも、お知らせしたいと考えています。
- 問** 担当者から、村内の小・中学校でお話をさせていただく機会などがあるといいと思いますが。
- 答** 県と連携し、各学校で防災出前講座などを開催できるよう検討していきます。
- 【感想】** 私は、議員として防災・減災について議会で発表しました。その際はとても緊張しましたが、議員は玉川村を良くしていくために様々なことを提案する大切な仕事だと学びました。来年も行う機会があれば参加したいです。

- 問** 「乙な駅たまかわ」は、村を代表する観光スポットになっていくと思います。クラフトビール製造見学の他にオリジナルシールの瓶作り体験などの参加型を取り入れることができると村のPRにもつながり、それにより、多くの人が集まり、リピーターも増えると思いますが、そのような考えはありますか。
- 答** 体験する要素を取り入れることは、新たな付加価値を創出できるものと考えています。ご提案いただいた内容を踏まえ、運営事業者と連携し実施できるよう検討します。
- 問** ワークショップができるスペースがあるといいと思います。村の間伐材、植物を利用した作品作りなど、素材とアイデアを生かした活動を取り入れることでSDGsにもつながると思いますが。
- 答** 本村でしか体験できないものには大きな価値があり、PRにもつながるものと考えております。
- 問** ワークショップを開く際の講師は、地域の人材を活用するという考えはありますか。また、子どもから高齢者まで楽しめるワークショップがあるとさらに良いと思いますが。
- 答** 村民の皆さんからご提案いただき、それをもとに開催するよう考えていきます。
- 【感想】** 私は、みらい議会に議員として参加しました。発表の時は緊張していつものように文が読めなくて焦りましたが、自分の意見により村が良くなると思うととてもうれしかったです。とても良い経験になりました。

- 問** 隣接する矢吹町には、無料で利用できる屋内遊技場「未来くるやぶき」があります。このような施設があれば、天候に関係なく遊ぶことができ、また同世代の子どもや保護者同士のつながりができ、安心して子育てができると思います。屋内遊技場などを作る予定はありますか。
- 答** 本村では、福島空港内に「わくわくらんどたまかわ」を整備し、年中無休で運営しています。その他、すま Plaza や多目的屋内施設のクックドームたまかわ、アーバンスポーツたまかわやたまかわ文化体育館を始めとした各種体育施設もあり、新たに作る予定は現時点ではありません。
- 問** 各地区にある公園に、きれいなベンチや遊具などを設置することはできませんか。
- 答** たまかわクックの森周囲にある「こどもの駅」には小さなお子さんでも安心して遊ぶことができる遊具や、家族が憩えるベンチなどを整備しています。各地区公園へのベンチや遊具の設置は各行政区長などの意見もお聞きしながら検討してまいりたいと考えております。
- 問** 遊具やベンチの設置には、SDGs と豊かな自然の利用を踏まえ、村の間伐材の利用や村の人たちが考えたアートを取り入れてはどうでしょうか。
- 答** SDGs の取り組み、また村民参加の村づくりという非常に良い考えだと思いますので、できる限り前向きに進めてまいりたいと思います。
- 【感想】** 僕は、今回のみらい議会では議員として参加しました。だんだん自分の番が近づくにつれ、心臓がバクバクしてとても緊張しました。めったにできない経験をする事ができました。貴重な機会ありがとうございました。

- 問** 盆踊りや餅つき大会などは地区の繋がりとなって、災害時に助け合うことができる、安心安全な村作りになると思います。各地区での行事などの把握、また推奨はしているでしょうか。
- 答** 地域コミュニティの維持に向けて集落支援員2名を配置し、地域コミュニティ組織の相談等を受けています。加えて各地区から案内いただいた事業へ、村長が可能な限り参加し内容を承知しています。村では「玉川村地域交流活性化事業補助金」を交付し、支援しています。
- 問** 地区間の繋がりが薄れている中、災害が発生した際に高齢者などの救助方法、連絡方法など、安心して日常生活を過ごせるような対策を村として何か考えていますか。
- 答** 介護が必要な方や、日常生活に支障があって支援が必要な方を、要援護者として把握しています。避難する際、個別にどのような支援が必要か、策定中の個別避難計画に基づいて支援してまいります。
- 【感想】** 私は今回、議員として議会に参加させていただきました。今回は質問時間が1人7分と短い時間でしたが、とても緊張感がありました。また、村長さんが質問に真剣に答えてくださったので新たな発見がありました。

- 問** 高齢者や空き家も増加していると思います。空き家の利活用は、どのように考えていますか。
- 答** 移住希望者の受け皿作り、暮らし体験住宅、サテライトオフィス、アートコミュニティスペースなど様々な活用を図り、今年度は「プレステイたまかわ実証事業」も行っています。
- 問** 空き家を利用して高齢者が集まり、リサイクル製品を作れるような場を村が提供することで、SDGs の面から社会との関わりやコミュニティができ、生きがいにもつながっていくと思いますが。
- 答** 高齢者の居場所づくりは、地域社会との関わりを深め健康や活力維持にも大変重要です。空き家を上手に利用する1つのアイデアとして、実施へ向けて検討したいと考えます。
- 問** 空き家のリフォームには多くの費用がかかりますが、補助はどれくらいありますか。
- 答** 「令和6年度空き家改修等支援事業」を創設し、個人向けに経費2分の1以内かつ最大150万円を補助しています。
- 【感想】** 私は、今回みらい議会に議員として発言をした時、村長は私の質問に対して丁寧に答弁をしてくださいました。なので、玉川村やSDGsについて深く考えることができ、良い経験になりました。

- 問** 福島県は昨年、再生可能エネルギー導入量が150億2900万kwとなり、電力消費量に対して102.9%と初めて100%を超えたことを発表しました。玉川村の太陽光発電やバイオマス発電はどのくらい進んでいますか。
- 答** 令和6年3月末現在、太陽光発電は、発電出力10kw以上の産業用発電設備が84件、10kw未満の家庭用発電設備が122件で、バイオマス発電については設置されておりません。
- 問** 目標値などを設定して取り組んでいますか。また、地域と共生する再生エネルギーの実現に向け、現在、どのような対策や支援を行っていますか。
- 答** 令和3年3月策定「玉川村地域まるごと省エネ計画」で温室効果ガス総排出量削減目標を令和12年度までに、基準年度である平成25年度比較で45%削減することと定め取り組んでいます。また、住宅用太陽光発電システム設置費用に対し、令和6年度は10月末までに5件の補助金を交付しました。
- 【感想】** 僕は、みらい議会では議員で参加しました。議長や村長、多くの議員の方の前で発表してとても緊張しました。自分の意見で玉川村が新しくより良い村になってほしいと思いました。

- 問** 夕方の部活動終了後、グラウンドが真っ暗の中で後片付けをしているときも危険な時があります。中学校の活動の安心安全を確保するため、グラウンドに外灯をつけてほしいと思いますが。
- 答** 冬季間は日没も早く、部活動終了時には暗く危険が伴うので、皆さんの安全確保に向けて設置等を検討してまいりたいと考えております。
- 問** 校門坂はとても狭いうえに木が生い茂っていて暗いです。雨や風、冬は日陰のため氷がなかなか解けず危険です。明るくすがすがしい気持ちでみんなが安全に登下校できるよう整備が必要では。
- 答** 立ち木の中には旧泉中学校建設時に生徒が記念に植えた桜の木もありますので残せる木は残しながら、安全に通学ができるよう、今後もしっかりと管理してまいりたいと考えております。
- 問** 校門坂の街灯の設置は、生徒や保護者、来校者や地域の方々が安心安全に通行するのに必要では。
- 答** 5基の防犯灯を設置しているが、支障木の伐採と合わせ、照明器具のLED化を協議してまいります。
- 【感想】** 議会は初めてということもあり、とても緊張しましたが、今まで練習した成果を發揮し大きな声で堂々と発表することができました。あまりできない経験だったので、緊張もあつたけど楽しくできてよかったです。

- 問** 玉川村には野菜栽培農家の方が多く、地元の食材を使えたり、大人との触れ合いやコミュニケーションを身に付けたり、心の拠り所になる子ども食堂をつくる考えはありますか。
- 答** 現在、民間団体による「クックキッチンたまかわ」が、すま Plaza内に開設されています。地元食材の活用やフードロス問題解消、子どもの居場所づくりなどを考えれば必要と思いますので、どのような支援ができるか調査研究していきます。
- 問** 玉川村の特産品のさるなしやブルーベリー、トマトなどを使った玉川村ならではのコラボ商品を人気のある企業と提携して開発することで、若者にも人気の商品になり、活性化に繋がると思うが、コラボ商品をつくる考えはありますか。
- 答** 本村ではさるなしドリンクやブルーベリージャム、トマトジュースなどを(株)こぶしの里などで開発、販売しているが、有名企業などとのコラボ商品を開発することも有効な手段と考える。SNS等のツールも有効活用し、新たな特産品を開発するなどして、検討していきます。
- 【感想】** 私は、議員として参加しました。最初は苦戦する場面が多くありましたが本番では練習してきたことが上手にできて良かったです。もう少し質問等もしたかったですが自分にプラスになる貴重で有意義な経験でした。

吉田煌陽 さん

私は、初めて傍聴人としてみらい議会に参加しました。議員や村長さんなどが玉川村が住みやすくなるための話し合いを見て、私たちも玉川村の活動に協力していきたいと思いました。

桑原 蛍 さん

私は、傍聴人でしたがとてもいい体験だったなと思いました。議員役の人達も、大きな声を出していてすごいと思いました。私の友達が議員だったのですが、声が大ききはきはきしていて分かりやすいと思いました。

小針千陽 さん

私はみらい議会で傍聴人をしました。生で初めて見る議会は凄く記憶に残るものでした。傍聴人の私すら緊張したのに議員の人はもの凄く緊張したと思うので、凄くと思いました。これからは村が良くなると思います。

小林理愛 さん

私は今回の中学生みらい議会で傍聴人でしたが、たくさんのことを学びました。それは意見を持つことの大切さです。意見をただ持つだけでなく、それを言って村をもっと良くしていくことが大切だと思いました。

友達からひとこと

傍聴人生徒8名からのコメント

神山星雫 さん

私は中学生みらい議会で、玉川村について深く考えることができたと思います。議員の人達の話で、知らなかったことや村がより良くなる意見を聞くことができ、私も玉川村をより良くしたいと思うことができました。

関根真唯 さん

私は、傍聴人としてみらい議会に参加しました。議員の人が質問している姿を見てすごいなと感じました。傍聴人全員が集中して聞けていて良かったと思います。SDGsで学んできたことを伝えることもできました。

吉田翔空 さん

みらい議会を傍聴していて思った事は、一人一人がみらいのために意見を出し合っていたり、その意見を今後どのように取り入れていくかを皆が真剣に考えていてすごいなと思いました。

車田綾香 さん

中学生みらい議会について、私は良い体験ができたと思っています。村長さん方のお話とても分かりやすかったですし、このような議会が玉川村で行われていることを知り、胸が高鳴りました。ありがとうございました。



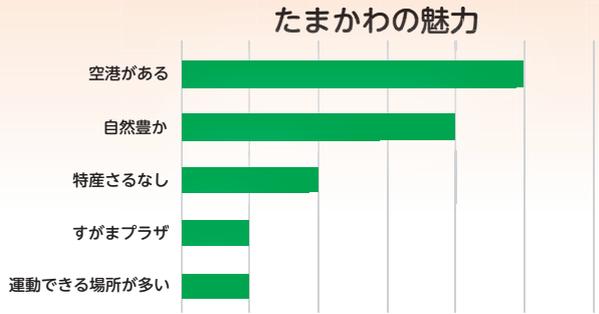
中学生みらい議会

広報委員と

玉中生とのワークショップ

Vol.3

ズバリ！玉川村の魅力はどんなところ？



多くの生徒さんからの意見は他町村にはない魅力として、空港がありアクセスが良い、自然が豊かで特産品などが作られている。運動ができる場所(文化体育館、すがまプラザ、グラウンド、クックドーム)など多くある事があげられました。



このような意見も！
夏祭りで花火が見れる。野菜がおいしい。
子供から高齢者まで運動ができ健康になれる。
yodge や乙な駅がありカフェや体験ができる。



もっと！魅力ある玉川村にするには・・・

空港の利活用便数を増やし、
いろんな場所へ行ける様にする！

皆の意見で**魅力あるたまかわ**を作ろう！

- ・自然を生かしたイベント開催
- ・特産品のPRを増やし知名度をあげる
- ・道路(通学路)の整備をする
- ・道路脇・通学路のゴミを無くす
- ・もっと遊べる施設を増やす
- ・宿泊施設があればたくさん人が来る
- ・修学旅行で台湾へ行けるとよい

今回ワークショップに参加した生徒(敬称略)

大越翔夢 石井敬也 小林蓮旺 小林圭吾
小山田陸聖 塩澤一翔 塩澤和紀
添田桜我 仁井田遥斗 塩澤柀玖
宗形晴 渡邊匠実 吉田星哉



最後に、みんなで 3・2・1 はい・OK～!!

中学生とのワークショップが学校のご理解と協力により、重ねる事3回目を迎える事が出来ました。

また、初の試みとして、十一月には中学生によるみらい議会を開催する事ができ、通常議会同様に一般質問に於いて、生徒の皆さんより貴重なご意見をいただきました。

これらの意見を参考に今後更に、開かれた議会活動に活かし取り組んで参ります。

(佐久間 福男)

あとがき